

SICE 中部支部シンポジウム予稿原稿の書き方(サンプル)

○計測 太郎(計測自動制御学会), 制御 花子(計測自動制御学会)

Instruction for SICE Symposium Manuscript

○Taro KEISOKU (SICE), and Hanako SEIGYO (SICE)

Abstract: This manuscript describes a method for preparing a manuscript for the symposium of the SICE division.

1. 緒言

本稿ではSICE 部門講演会の予稿原稿を作成するための説明を行います。講演会では予稿原稿としてPDFファイル形式のファイルを電子投稿していただく事を原則とさせていただいております。ただし、電子化やネットワーク接続が困難な場合には個別に対応させていただきますので、プログラム委員会までご相談下さい。

2. 原稿作成方法

2.1 原稿枚数, ファイル形式とファイル容量

原稿は1講演につき1ページとなります。提出していただく原稿のファイル形式は原則としてPDF 形式といたします。PDF 形式とすることが不可能な場合には、プログラム委員会にご連絡ください。また、原稿完成時のファイルサイズはPDF 形式で2MB 程度を上限の目安とさせていただきます。原稿送付時にはそれ以上でも受け付け可能な場合がありますが、その場合には全体の原稿の総容量により再提出をお願いする場合がありますので、ご了承下さい。

2.2 用紙サイズ, 書式など

2.2.1 原稿の体裁

用紙サイズはA4版(縦297mm×横210mm)とし、余白部分は左右15mm, 上20mm, 下27mmを確保して下さい。よって、原稿作成領域は縦250mm×横180mm の枠内となります。

2.2.2 基本書式

原稿の記載内容は、下記の順序とします。

- 1) 和文題名(英文原稿の場合には不要, 16pt ゴシックフォント推奨, センタリング)
- 2) 和文著者名・所属(英文原稿の場合には不要, 12pt明朝フォント推奨, センタリング, 登壇者に○を付加)
- 3) 英文題目(16pt Times New Roman Bold 推奨, センタリング)
- 4) 英文著者名・所属(12pt Times New Roman推奨, センタリング, 登壇者に○を付加)
- 5) 英文アブストラクト(9pt Times New Roman 推奨, 3～5行程度, 文章両側を10mm 程度インデント)
- 6) 本文(本文文章は10pt 明朝フォント推奨, 章見出しは12～10pt 程度のゴシックフォント推奨)
- 7) 参考文献(10pt 明朝フォント推奨)

なお, 1)～5)の英文アブストラクトの部分までを1段組, 6)～7)の本文からを2段組として下さい。

2.2.3 図と表について

予稿はPDFファイルとなりますので、図や表はカラーで作成していただいても構いません。ただし、ファイルサイズの制限にご注意下さい。図のキャプションは図の下にFig.1, Fig.2という具合に、表のキャプションは表の上にTable 1, Table 2という具合にお付け下さい。(英語表記, フォントは10pt Times New Roman 推奨)

3. 結言

本稿はあくまで予稿原稿を作成するためのガイドラインを示したものです。改行幅やフォントの設定などについては、原稿の内容や量にあわせて適宜判断していただき、原稿を作成してください。また、本稿はSICE-SIの予稿原稿の書き方[1]を参考にMSワードファイルを用意したものです。適宜変更して使用してください。

参考文献

- [1] 計測太郎, 制御花子: “SICE SI予稿原稿の書き方(サンプル)”, 計測自動制御学会SI部門講演会SICE-SI予稿集, pp.0000-0000(20??)